

# 中国語話者のための日本語教育研究会（第 55 回）

2024 年 3 月 16 日(土) 10:00~18:00 (日本時間)

【ハイブリッド開催(対面開催に Zoom 同時中継)】

【対面会場】 関西大学梅田キャンパス 701 室

(最寄り) 阪急「大阪梅田駅」茶屋町側から徒歩 5 分/JR「大阪駅」御堂筋南口から徒歩 10 分)

事前登録不要、参加希望者は直接来場あるいは zoom に入室してください

## プログラム

日本時間 10:00	開会式 (全体) 司会:麻 子軒(関西大学) 対面会場(701 室) Zoom 同時中継 ミーティング ID: 651 978 9778 パスコード: 240316
オンライン発表司会:劉 瑞利(中山大学)	
10:05~ 10:35	王凱男(岡山大学大学院) 現代若者の自然会話における接続詞の使用実態—性差に着目して—
10:35~ 11:05	李欣然(中国・北京外国語大学大学院) 学習者の気づき機能が日本語の会話習得に与える影響
休憩(10 分)	
オンライン発表司会:劉 永亮(東京都立大学)	
11:15~ 11:45	浦井智司(早稲田大学大学院) 非母語話者教師の考えるオンライン化できない日本語母語教師の役割—コロナ禍に始まったオンライン授業を中心に—
11:45~ 12:15	林燕燕(東京外国語大学大学院) 中国の日本語教科書における漢語動作名詞を用いた機能語彙結合の提示状況に関する—考察—教科書間の比較を中心に—
昼休憩(12:15-13:20)	
司会:陳 秀茵(東洋大学)	
13:20~	劉藝寒(東京都立大学大学院) / オンライン発表

13:50	読解指導を受けた後に中国人日本語学習者による同一文章の要約文に現れた変化—残存内容と表現形式に着目して—
13:50~ 14:20	孫守乾(東京都立大学大学院) 日本語卒業論文の最終章における構成要素とその指導の考察—指導教員に対する半構造化インタビューから—
14:20~ 14:50	目黒裕将(エーム奈良国際アカデミー) 中国の日本語専攻大学生による言語分野の卒業論文テーマ×大学を対象としたテキストマイニングを用いた卒業論文題目分析—
休憩(10分)	
司会:西坂 祥平(お茶の水女子大学)	
15:00~ 15:30	邢修強(中国・上海外国語大学大学院) 中国人日本語学習者の「~的」の誤用分析
15:30~ 16:00	劉志毅(早稲田大学大学院) 日本語簿記の専門用語の特徴と授業導入の最適な時期について—日本語学の知見を援用した「日本語+α」人材の育成を目指して—
16:00~ 16:30	蔡苗苗(大阪大学大学院) ピア・レスポンス活動による学習者間の知識構築過程の分析—中国人日本語学習者に対する縦断的調査をもとに—
休憩 10分	
司会:早川 杏子(一橋大学)	
16:40~ 17:10	崔英才(中国・淮陰師範学院講師) / オンライン発表 オンラインの接触場面会話におけるスピーチスタイルシフト—中国国内の学習者の習得問題を中心に—
17:10~ 17:40	郭ティティ(関西大学大学院) 断り場面における中国語を母語とする日本語学習者の言いさし表現の使用実態—日本語母語話者と比較して—
17:40~ 18:00	総会&閉会式 司会:鈴木 一徳(城西国際大学)

★連絡先等

大会運営委員会:劉志偉( [di82zhi@yahoo.co.jp](mailto:di82zhi@yahoo.co.jp) )→大会当日連絡

中国語話者のための日本語教育研究会 事務局:李湘琴( [nittyuugenbun@yahoo.co.jp](mailto:nittyuugenbun@yahoo.co.jp) )→入会等

研究会 HP:<https://chuugokugowashablog.wordpress.com/>

★開催校地図 関西大学梅田キャンパス(<https://kandai-merise.jp/>)による 📍 (建物の一階が STARBUCKS COFFEE となっています。)

